

3 子育てのための生活環境の整備

- 被災した保育施設などの早期復旧を図るとともに、子育てに配慮した生活環境の整備をさらに進めます。
- 保育施設・学校教育施設などの早期復旧
- 学校給食センターの早期復旧
- 子育て世帯に配慮した公共施設の整備(子どもが遊べる公園の整備など)
- 子どもの交通安全の確保(歩道の整備、交通安全に関する取り組みの推進など)
- 子どもを犯罪から守る取り組みの推進(子どもひなんの家の整備、見守りパトロールの推進) など

益城ブランド復興プロジェクト

1 益城町の魅力の再発見

- 町の魅力を再発見し、それを誇りに思えるよう、町全体で浸透を図っていきます。
- 自然・歴史・文化に関する学習イベントの開催(住民講座、文化財ウォークなど)
- 児童・生徒への自然・歴史・文化に関する学習機会の提供
- 町内外からのさまざまな人や企業などが参加するワークショップの開催
- 図書館(郷土資料)の充実 など

2 新たな益城町の魅力の創出

- 町の魅力につながるイベントの開催や物産の生産などを進めます。
- イベントの企画・運営

- 歴史・文化遺産(有形・無形)の再整備
- 町の魅力となるような農産品の生産・加工・販売
- 自然環境を活かした公園などの整備 など

3 益城町の魅力の発信

- 町の魅力を、町全体で外部に発信していきます。
- 特産品体験イベント(マルシェ)の開催
- 本町PRイベントの開催
- 物産イベントへの出展
- 空港や物産館などでの情報発信
- 「益城町応援隊(仮称)」によるPR活動推進
- 企業交流イベントの実施
- SNSを活用した情報発信
- 庁内タウンセールスチームの設置
- 熊本・益城にゆかりのある著名人との協働 など

4 地震を題材とした情報発信

- 地震を通して益城町の知名度が上がったことを踏まえ、交流人口を増やすための情報発信を進めます。
- 震災記念公園の整備(再掲)
- 震災メモリアル回廊の整備(再掲)
- 全国の小・中学生を中心とした社会科見学の見学誘致(再掲)

5 本町訪問客等の受け入れ

- 町への訪問客や誘致企業などを円滑に受け入れられる場所やしぐみを整備します。
- 物産館の整備
- 賑わいのある商店街の整備

- 産業団地の整備
- ふるさと納税プラットフォームの充実 など

みんなできがたる[®]復興プロジェクト

1 協働の「場」づくり

- 住民・町・大学・民間などが互いに連携し、活動を行っていくための協働の「場」(会議体、イベント、活動拠点など)を整備します。
- 町内外の各種団体と復旧・復興に向けて定期的に意見交換する「場」の整備

- 「益城町未来トーク」などにより次世代を担う若者が全町的にまちづくりに参加する「場」の整備
- まちづくり協議会などの地域の課題を解決していくための「場」の整備
- ましきラボによる行政と住民をつなぐ「場」の整備 など

2 協働のテーマづくり

- 「協働」のまちづくりを推進していくために、住民一人ひとりが身近な町の課題に関わり、解決していく活動に取り組みます。
- みんなの公園づくり
- みんなの地域まちづくり計画の策定
- みんなの環境美化活動
- みんなの健康づくり
- みんなのイベント企画・運営 など

3 協働による復旧・復興の推進を支援するしくみの整備

- 住民が主体となって復旧・復興の取り組みを進めるために、必要な知識や経験を大学や専門家などが提供するしくみを整備します。
- 住民と行政の連携による「益城町復興塾(仮称)」の企画・運営
- 協働の「場」への専門員派遣制度の整備
- 議論や取り組みを円滑に進めるためのファシリテーターの派遣など

4 活動を全町に展開していくためのしかけづくり

- それぞれの活動や経験を住民、町、関係機関とで共有し広めていくことで、さらなる協働の展開を図り、継続的な活動につなげます。
- 取り組みの広報紙への定期的な掲載など、町内外への情報発信
- 益城町の将来を担う「益城町震災復興サポーター(仮称)」の育成
- 「益城の復興をみんなできがたる会(仮称)」(各団体による活動状況や課題をかたる会議)の開催 など



さまざまな提案を討議する復興計画策定委員会